

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0353
施設名	小野路保育園
施設所在地	東京都町田市小野路町1416
法人名	社会福祉法人 香楓会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

環境の維持

<テーマの設定理由>

当園では前年度にも同様の活動を行っているが、一年の経過により整備した裏山竹林には新たな竹が生えたり折れた枝が落ちていたりともまた広い遊び場が減り、作り上げた築山は土が崩れて小さくなってしまふなどの変化が生じていた。
今回再び竹林と築山の整備を行うことで、自然による環境の変化とその維持の大切さについて体感することを狙う。

2. 活動スケジュール

【全3回】

第1回 裏山の竹運び

第2回 築山の土運び

第3回 築山のすべり台作り

第4回 振り返り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

裏山作業用の軍手、築山用の土、土を運ぶための子供用シャベル・バケツ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

裏山竹林をどのように整備すればよいか下見をして大人が伐採した竹の片付けを行い、遊びやすくなっていく場を実感した。
築山に土を追加していき、水分を足したり足踏みをしたりすることで山が高く頑丈になっていく様子を楽しみながら観察した。
各活動では保護者も参加可能にし、お子さんと共にすくわくプログラムを体験していただいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保護者にご協力いただいたことで、子どもたちが知識や経験を披露しようと積極的に活動に関わっていた。保護者に対して子どもの方から指示を出す様子も見られた。
また、子ども同士でも築山の土が足りない部分を見つけると「バケツで土を持ってくる係」「足で踏み固める係」のように自然と役割分担をしていた。

<活動の記録>



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

保護者の協力や子ども同士での声の掛け合いにより、前年に近い内容のなかでも子どもたちが自ら活動を探求し、発展させていく様子が見られた。
大人が指示や補助をするだけでなく、子どもたちの自主性に任せることの重要性を感じた。